



栃木トヨペット株式会社より 新車ラクティス1台と車椅子が20台寄贈されました



栃木トヨペット株式会社様より、新車のラクティス 1 台と車椅子 20 台を寄贈頂くことになり、9月23日、当院グリーンホールにおいて贈呈式を執り行いました。

贈呈式では、新井祥司 代表取締役社長から「車椅子の寄贈は今年で 3 年目となります。加えて今回は当社創立 60 周年を記念し車両も寄贈いたしますので、訪問看護等医療の現場で役立てて頂きたい。」とご挨拶があり、小林院長に目録とゴールデンキーが手渡されました。これを受けて小林院長からは「高齢化に伴い、院内の車椅子の需要は増える傾向にあり、寄贈頂いた車椅子は有効に活用し、患者さんの負担軽減に役立てたい。また『病気があっても住み慣れた自宅でくらしたい』と願う患者さんの思いに応えるため、車両は訪問看護の際に大事に使用させていただきます。」とのお礼の言葉とともに、感謝状と記念品を贈りました。寄贈頂いた車両及び車椅子は、有効に活用させていただきます。



災害対策本部の運営訓練を行いました



9月10日、当院管理会議室にて災害対策本部の運営訓練を行いました。今回は「大規模災害の際に効率的な情報・状況の共有、適切な意思決定など、組織としての迅速かつ正確な災害対応を行うこと」を目的とし、病院長、副院長、部長、院内DMAT、災害対策委員らが参加し、緊張感を持って取り組みました。

想定した災害は、宇都宮市を震源とするM6.9、震度 7 の内陸直下型地震です。訓練では、殺到する被災情報を本部が正確に収集、把握するとともに、その状況から、本部員が対応等を判断、指示するなど、被災状況の情報収集から処理、指示に至るまでの一連の動きを実践的に実施しました。

今回の訓練を受け、過酷な災害を想定し、対応すべき、判断すべきことの膨大さと、それに備えて事前に準備しておくことの重要性を改めて強く感じました。今後も多数傷病者受け入れの実動訓練に加え、こうした本部機能感した訓練となりました。



日本看護協会より「カンゴサウルス賞」を頂きました



平成 28 年 5 月に、日本看護協会から「カンゴサウルス賞」を頂きました。この賞は、看護職のワーカライフバランス推進の普及に、組織をあげて継続的に取り組んだことに対しての賞です。

当院では、平成 25 年に「職員がいきいきと働き続けることができる職場づくり」を目指し、ワーカライフバランス推進委員会を立ち上げ、病院長が委員長となり、各職種・部門からの委員で構成し活動してきました。

有休取得日の日数増加、時間外勤務申請方法の変更、看護職の 13 時間夜勤への変更、就業規則の周知などに取り組み、職種の枠を超えて意見交換や情報共有ができたことが大きな収穫であったと思います。

